

東北地方 1か月予報

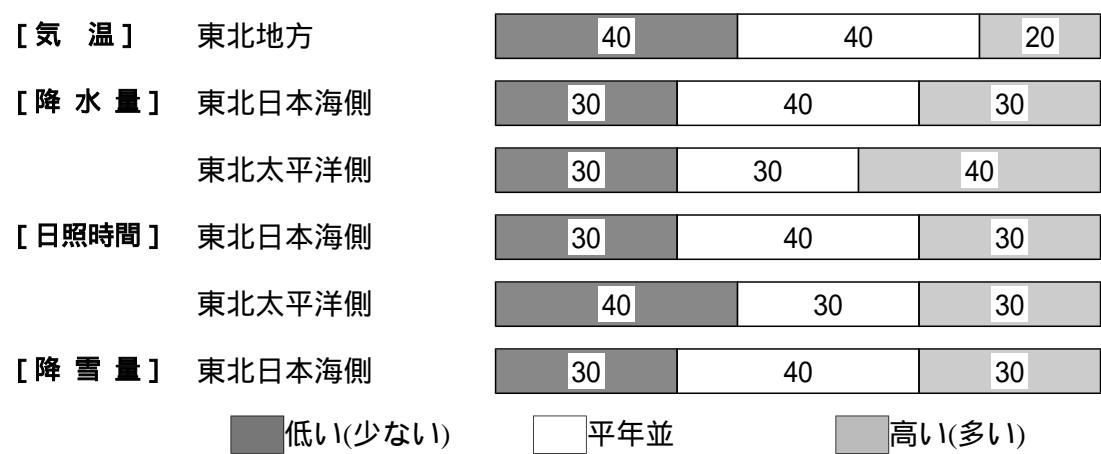
(1月12日から2月11日までの天候見通し)

平成20年1月11日
仙台管区気象台発表

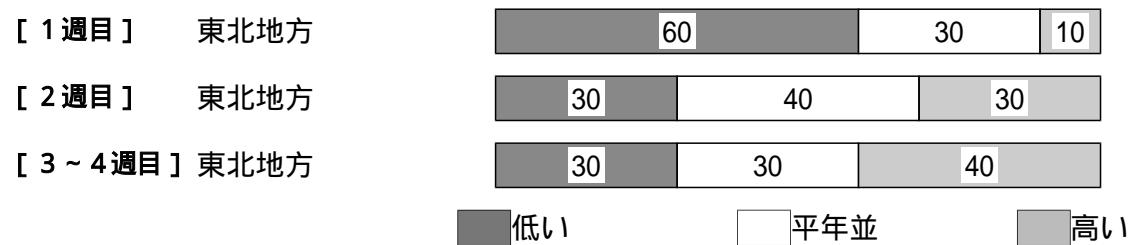
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。1週目は気温が低くなる見込みです。
向こう1か月の平均気温は、平年並または低い確率がともに40%です。
週別の気温は、1週目は低い確率が60%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

- 1か月 : 1月12日(土) ~ 2月11日(月)
1週目 : 1月12日(土) ~ 1月18日(金)
2週目 : 1月19日(土) ~ 1月25日(金)
3~4週目 : 1月26日(土) ~ 2月 8日(金)

<次回発表予定等>

- 1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は1月18日
3か月予報：1月24日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	降雪量 (cm)	気温()		
					1週目	2週目	3～4週目
青森	-1.7	147.2	63.0	266	-1.3	-1.8	-1.9
深浦	-0.7	88.0	36.3	136	-0.3	-0.8	-1.0
むつ	-1.9	91.8	83.5	186	-1.5	-1.9	-2.2
八戸	-1.5	53.9	138.7	111	-1.1	-1.5	-1.7
秋田	-0.4	105.7	52.6	147	0.0	-0.5	-0.6
盛岡	-2.3	51.5	133.1	121	-2.1	-2.4	-2.5
大船渡	0.4	48.5	154.7	31	0.8	0.3	0.2
宮古	-0.2	64.9	167.9	57	0.3	-0.2	-0.4
仙台	1.2	37.0	160.1	38	1.5	1.1	1.0
石巻	0.3	37.5	175.6	14	0.6	0.2	0.1
山形	-0.8	75.4	95.9	173	-0.5	-0.9	-0.9
新庄	-1.5	175.1	47.5	296	-1.4	-1.6	-1.6
酒田	1.1	140.4	46.1	152	1.4	1.0	0.9
福島	1.2	46.0	147.7	91	1.4	1.1	1.0
若松	-0.9	76.8	90.6	194	-0.7	-1.0	-1.1
白河	-0.1	30.2	168.7	60	0.1	-0.2	-0.2
小名浜	3.2	50.8	195.9	0	3.5	3.2	3.1

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.8	74～111	95～107	88～107
東北日本海側	-0.4～+0.7	90～104	91～111	92～111
東北太平洋側	-0.5～+0.8	62～112	96～105	79～108

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.7～+0.8	-0.6～+0.9	-0.5～+0.7
東北日本海側	-0.8～+0.8	-0.6～+0.9	-0.5～+0.7
東北太平洋側	-0.7～+0.8	-0.6～+0.9	-0.5～+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成20年1月11日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(1月12日~2月11日) :

冬型の気圧配置となる日が多いですが、一時低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。1週目は気温が低くなる見込みです。

平均気温は平年並または低い確率がともに40%です。

1週目(1月12日~1月18日) :

気圧の谷や寒気の影響で、東北日本海側は雪の日が多いでしょう。東北太平洋側は、期間のはじめと中頃に曇りや雪または雨の降る日がありますが、その他の日は、沿岸部を中心におおむね晴れるでしょう。

平均気温は低い確率が60%です。

2週目(1月19日~1月25日) :

冬型の気圧配置となる日が多いですが、一時低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3~4週目(1月26日~2月8日) :

冬型の気圧配置となる日が多いですが、一時低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。

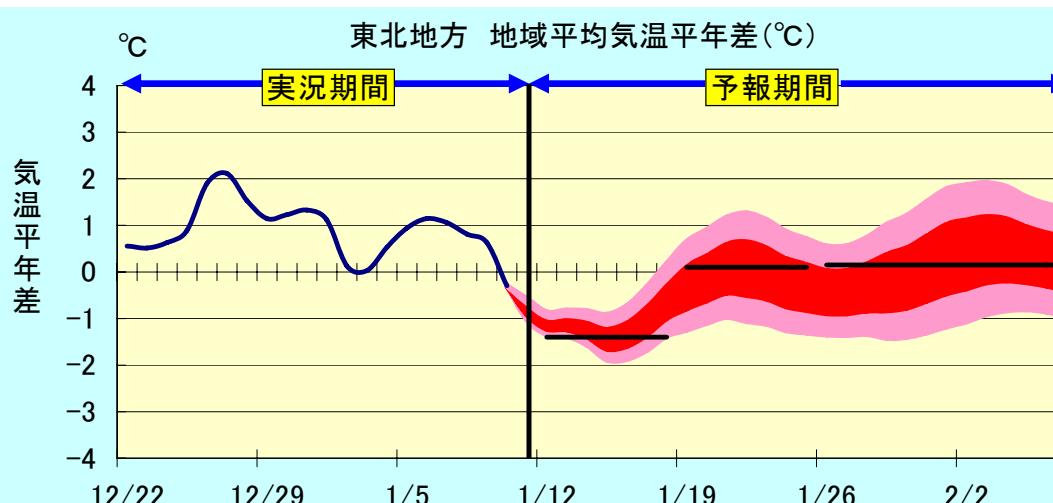
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	5.1日	1.3日	1.1日	2.7日
東北太平洋側	18.2日	4.5日	4.3日	9.4日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年を下回り、2週目、3~4週目はともに平年付近の予想となっている。



* 実況期間(図の左側)の太い実線: 東北地方の平均気温平年差の実況値。(7日平均値)

* 予報期間(図の右側)には7日平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示

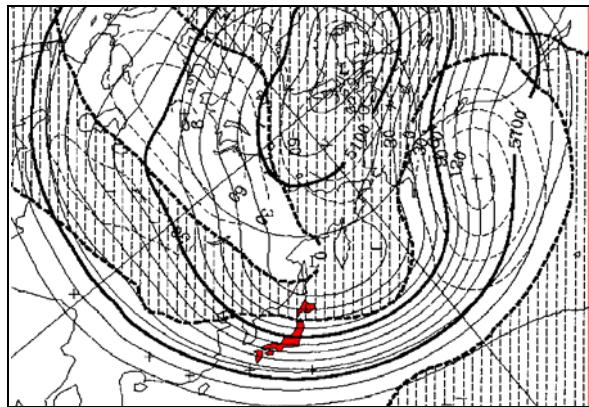
* 水平な3本の実線: 予報期間の1週目、2週目、3~4週目についての多数の平均。

3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均: 北極付近は北ヨーロッパからロシア西部をのぞいて負偏差で、北極振動は寒気蓄積傾向。日本付近は正偏差であるが、日本の北側は気圧の谷となっていて、時々寒気の南下が見込まれる。

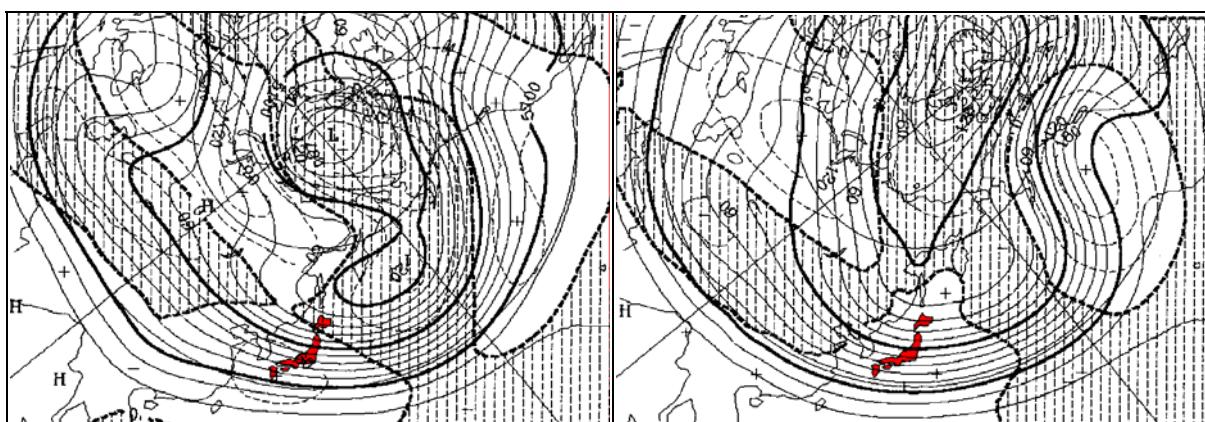
1週目: 北海道から日本の東海上にかけては、北極付近からのびる負偏差がひろがり、寒気の南下が見込まれる。日本付近は西日本を中心に正偏差であり、東谷傾向。下層の気温は北日本を中心に強い負偏差(図略)となり、気温は低くなる見込み。

2週目: 日本付近は正偏差で1週目の東谷傾向は解消。下層の気温の負偏差も弱まる(図略)。1週目の低温は解消する見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

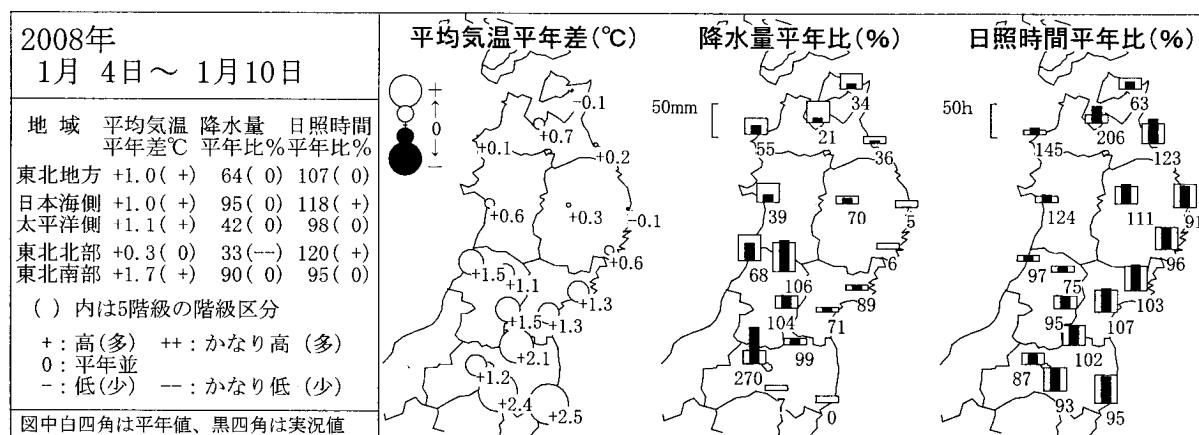
実線は、等高度線（間隔60m）、点線は、平年差（間隔60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (1月4日～1月10日) の天候の経過

この期間は、気圧の谷や低気圧が短い周期で通過し、曇りや雨または雪の日が多くたが、東北太平洋側では移動性高気圧におおわれて晴れる日もあった。6日と8日から9日にかけては、気圧の谷が通過した影響により、東北日本海側南部を中心にまとまった雨や雪となったところがあった。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）